

10 文化観光スポーツ部

目 次

(1) サステナブルツーリズム推進事業（継続）	373
(2) おきなわユニバーサルツーリズム推進事業（継続）	375
(3) 沖縄観光グローバル事業（継続）	376
(4) 国内需要安定化事業（継続）	378
(5) 観光2次交通利用促進事業（継続）	381
(6) 戦略的クルーズ観光推進事業（継続）	382
(7) B e . O k i n a w a 多言語コンタクトセンター運営事業（継続）	383
(8) カップルアニバーサリーツーリズム事業（継続）	385
(9) 教育旅行推進強化事業（継続）	387
(10) 観光2次交通結節点機能強化事業（継続）	389
(11) 沖縄観光コンテンツ開発支援事業（継続）	390
(12) 沖縄ワーケーション促進事業（継続）	391
(13) 観光人材育成・確保促進事業（継続）	393
(14) 持続可能な国際観光景観事業（新規）	394
(15) 沖縄観光人材不足緊急対策事業（新規）	395
(16) 高付加価値なインバウンド観光地形成事業（新規）	397
(17) 那覇空港観光2次交通対策事業（新規）	399
(18) 沖縄観光人材不足緊急対策事業（交付金）（新規）	400
(19) 修学旅行需要分散化促進支援事業（新規）	402
(20) 持続可能な観光地形成に向けた2次交通推進モデル事業（新規）	403
(21) マリントウン大型M I C E 施設整備・エリア形成事業（継続）	405
(22) 戦略的M I C E 誘致促進事業（継続）	406
(23) M I C E 受入体制強化等事業（継続）	408
(24) サッカースタジアム整備等推進事業（継続）	410
(25) 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業（継続）	411
(26) しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業（継続）	412
(27) スポーツツーリズム戦略推進事業（継続）	414
(28) F B W C 2 0 2 3 のレガシーを活用したスポーツ交流推進事業（新規）	418
(29) デフバレー世界選手権開催支援事業（新規）	420
(30) 観光危機管理体制構築支援事業（継続）	421
(31) スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業（継続）	423
(32) 令和16年（2034年）第88回国民スポーツ大会開催準備事業 （新規）	424
(33) 災害時等観光客避難支援事業（新規）	426
(34) 競技力維持・向上対策事業（継続）	428
(35) 社会体育活動の推進（継続）	431

(36) おきなわ国際協力人材育成事業（継続）	434
(37) 世界のウチナーネットワーク強化推進事業（継続）	436
(38) 次世代ウチナーネットワーク育成事業（継続）	438
(39) 多文化共生推進事業（継続）	441
(40) ウチナーネットワーク拡充支援プロジェクト（新規）	442
(41) 新・地域間国際交流（協力）推進事業（新規）	446
(42) 人材交流を中心とした新事業・共創ネットワーク事業（新規）	448
(43) マリンレジャー事故防止調査対策事業（継続）	450
(44) 離島観光活性化促進事業（継続）	452
(45) しまくとぅばアーカイブ事業（継続）	454
(46) しまくとぅば普及継承事業（継続）	455
(47) 沖縄県文化振興事業等推進費（継続）	457
(48) 沖縄食文化保存普及継承事業（継続）	458
(49) 琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業（継続）	459
(50) 沖縄文化芸術の創造発信支援事業（継続）	460
(51) 琉球王国文化遺産集積・再興事業（継続）	461
(52) 沖縄県空手振興事業（継続）	463
(53) 沖縄空手世界大会開催事業（継続）	466
(54) 沖縄空手ユネスコ登録推進事業（継続）	467
(55) 空手ツーリズム受入体制構築事業（継続）	468
(56) しまくとぅばアニメオリジナル事業（新規）	469
(57) 琉球歴史文化芸術興隆事業（新規）	470

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：サステナブルツーリズム推進事業（継続）

事 業 期 間：令和５年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

沖縄独自の歴史や文化、地域資源を利活用した観光を推進するとともに、自然環境の保全、地域の文化・生活環境を尊重し、旅行者と地域住民が沖縄観光ブランドの価値を共有する持続可能で質の高い観光に取り組む。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
サステナブル ツーリズム推 進事業	28,406	1 サステナブル ツーリズム推進 事業 ・サステナブルツ ーリズムの実態把 握と事例収集を行 い、有識者会議で 沖縄県版サステナ ブルツーリズムに 関する課題整理や あり方の方向性に ついて検討し、議 論を図る。 ・県内のサステナ ブルツーリズム取 組支援のため、補 助金事業を実施す る。 ・沖縄版サステナ ブルツーリズムの 普及啓発のため、 取組事例紹介やセ ミナー等の開催を 行う。	20,172	1 サステナブル ツーリズム推進 事業 ・サステナブルツ ーリズムの実態把 握と事例収集を行 い、有識者会議で 沖縄県版サステナ ブルツーリズムに 関する課題整理や あり方の方向性に ついて検討し、議 論を図った。 ・県内のサステナ ブルツーリズム取 組支援のため、補 助金事業を実施し た。 ・沖縄版サステナ ブルツーリズムの 普及啓発のため、 説明会を開催し た。	最終予算額 28,406 執行率 71.0% 不用額 8,234

3 事業の効果/課題

(1) サステナブルツーリズム推進事業

- 効果： 沖縄県版サステナブルツーリズムのあり方を検討するため、県内の実態把握と事例収集を行いし、有識者会議を開催し、沖縄県版サステナブルツーリズムに関する課題整理やあり方の方向性について協議した。
- また、県内サステナブルツーリズムの取組を支援するため、事業概要や補助金制度に関する説明会を開催し、補助金事業にて県内取組を支援する等、サステナブルツーリズムの取組推進を図った。
- 課題： 観光諸課題の解決や沖縄版サステナブルツーリズムを着実に実行するため、行政に加え、県内各主体（旅行者・事業者・県民）と協働し、具体的な取組を推進する体制構築が必要である。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：おきなわユニバーサルツーリズム推進事業（継続）

事業期間：平成30年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

沖縄を訪れる高齢者、障がい者等の受入体制の充実を図るため、観光事業者向けセミナーの開催や、観光誘客に向け、バリアフリー観光地としての認知度を高める。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
おきなわ ユニバー サルツー リズム推 進事業	21,451	1 おきなわユニ バーサルツーリ ズム推進事業 ・全ての観光客 が、沖縄を楽しめ るようにきめ細か な受入体制の強化 を図るとともに、 本県のユニバーサ ルツーリズムに関 する情報の発信を 行うことで、観光 誘客を促進する。	21,317	1 おきなわユニ バーサルツーリ ズム推進事業 ・観光関連事業者 を対象としたセミ ナー及びアドバイ ザー派遣を10回 実施した。 ・ユニバーサルツ ーリズムのPR (展示会出展、ポ ータルサイトによ る情報発信等)を 実施した。	☆ 最終予算額 21,451 執行率 99.4% 不用額 134

3 事業の効果/課題

(1) おきなわユニバーサルツーリズム推進事業

効果： 観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行った。オンライン開催及びアーカイブ配信とすることで、参加する観光事業者の実質的な負担を減らし、多くの事業者の受入環境整備に寄与した。

課題： ユニバーサルツーリズムの対象者は今後も増加が見込まれることから、引き続き、観光関連事業者の受入体制強化を図る。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：沖縄観光グローバル事業（継続）

事 業 期 間：平成 24 年度～令和 13 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国際観光地沖縄の基礎的需要の創出を図るため、航空路線の誘致・拡充と連動し、ターゲットとする海外の各市場において戦略的なプロモーション等を展開する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄観光 グローバル事業	550,134		531,999		☆ 最終予算額 550,184 執行率 96.7% 不用額 18,185
	448,366	1 沖縄観光グローバル事業 ・国際航空路線の副便、誘致及び拡充、各市場の特性に応じた戦略的な誘客活動や沖縄観光情報の発信等。	431,209	1 沖縄観光グローバル事業 ・航空会社の就航支援のほか、市場別誘客プロモーションを11箇所の地域で実施した。	最終予算額 449,385 不用額 18,176
	17,328	2 海外事務所観光誘致機能強化事業 ・重点市場及び戦略開拓市場の最前線で活動する沖縄県海外事務所の観光誘客活動の強化、各種施策展開の情報収集、プロモーション等。	16,309	2 海外事務所観光誘致機能強化事業 ・海外事務所設置の台北、ソウル、北京、上海、香港及びシンガポールで、地実情に応じた弾力的な観光誘客プロモーションを実施した。	最終予算額 16,309 不用額 0

	57,951	3 沖縄観光ブランド戦略推進事業 ・海外のオンライン媒体による発信や広告配信等	57,951	3 沖縄観光ブランド戦略推進事業 ・沖縄観光ブランドのビジュアルイメージ（映像・グラフィック）の制作のほか、沖縄ブランド認知度調査を実施した。	最終予算額 57,951 不用額 0
	19,200	4 海外富裕層向けプロモーション事業 ・民間事業者が実施する沖縄のソフトパワー（歴史、自然、文化等）を活用した観光コンテンツ開発の支援	19,200	4 海外富裕層向けプロモーション事業 ・民間事業者や地域観光協会等が実施する付加価値の高い観光コンテンツ開発に 11 件支援した。	最終予算額 19,200 不用額 0
	7,289	5 事務費 ・旅費、会計年度任用職員に係る報酬及び職員手当等	7,330	5 事務費 ・旅費、会計年度任用職員に係る報酬及び職員手当等	最終予算額 7,339 不用額 9

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄観光グローバル事業

効果： 本事業による航空会社の就航支援及び市場別誘客プロモーションにより、令和 6 年度末時点における那覇空港国際航空路線の運航状況は、令和 5 年度末時点の 9 路線（台北、高雄、ソウル、釜山、香港、北京、上海、シンガポール及びクアラルンプール）、17 社運航から、13 路線（台北、高雄、台中、ソウル、ソウル（下地島）、釜山、仁川、香港、北京、上海、福州、シンガポール及びクアラルンプール）、22 社運航まで増加した。また、令和 6 年度の外国人観光客数は 229 万 1,500 人であり、令和 5 年度の 126 万 3500 人から 102 万 8,000 人増加した。

課題： 国際航空路線数については、新型コロナウイルス感染拡大前の 15 路線までいまだ回復の途上であり、引き続き関係機関と連携して、同水準の路線回復に取り組む必要がある。また、外国人入域観光客の沖縄観光需要を喚起し取り込みを図るため、各市場で戦略的な観光プロモーションを実施し、国内外の国際空港からの経路便を活用した欧米等の長期滞在型リゾート需要の獲得や観光客の滞在日数の延伸に向けた取組を行う必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：国内需要安定化事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向け、戦略的な観光プロモーション活動の実施により、沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進に取り組む。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
国内需要 安定化事業	276,384		271,025		☆ 最終予算額 276,707 執行率 97.9% 不用額 5,682
	182,219	1 国内需要安定 化事業委託業務 ・W e b サイトや S N S 等の各メデ ィアを活用したメ ディアプロモーシ ョンを実施する。 ・航空会社や空港 等とのタイアップ プロモーションを 実施する。 ・沖縄観光関連の テレビ番組等メデ ィア招へいを実施 する。 ・沖縄関連イベン トでイベントプロ モーションを実施 する。 ・沖縄観光の情報	181,696	1 国内需要安定 化事業委託業務 ・観光情報サイト 「おきなわ物語」 等を活用したメデ ィアプロモーショ ンを実施した。 ・就航地を中心と した航空会社や空 港等とのタイアッ ププロモーション を実施した。 ・地方路線就航地 のメディアを招へ いし、当該メディ アが沖縄の観光地 やコンテンツ等を 取材、各就航地域 でテレビ番組を制 作、配信した。	最終予算額 182,219 不用額 523

		発信のための販促ツールを作成する。 ・奄美・沖縄世界自然遺産を活用したプロモーションを実施する。 ・効果的な情報発信のためにWeb更新・強化を実施する。		・県外で開催された沖縄関連イベントでイベントプロモーションを実施した。 ・沖縄観光の情報発信のための販促ツールとして観光総合ガイドブック等を作成した。 ・奄美・沖縄世界自然遺産を活用したプロモーションを実施した。 ・旬の観光トピックを活用した情報発信を行うため、「おきなわ物語」の随時更新・記事発信を実施した。		
62,500	2	沖縄観光ブランド戦略推進事業委託業務 ・沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を活用した国内向け沖縄観光ブランディングの映像制作及び広告配信を実施する。	62,500	2	沖縄観光ブランド戦略推進事業委託業務 ・国内向け沖縄観光ブランディングの映像制作及び広告配信を実施した。	最終予算額 62,500
12,500	3	国内・海外富裕層向けプロモーション事業委託業務（国内実施分） ・国内富裕層市場における沖縄の認知度向上と誘客につなげるための観光プロモーションを実施する。	12,500	3	国内・海外富裕層向けプロモーション事業委託業務（国内実施分） ・国内富裕層市場向け観光プロモーションを実施した。	最終予算額 12,500

	15,000	4 CRM 調査事業 委託業務 ・国内の沖縄リピーターの獲得と新規顧客の開拓を最も効率的かつ効果的に行える CRM (Customer Relationship Management) 開発に向けた調査を実施する。	10,000	4 CRM 調査事業 委託業務 ・オンライン調査を通じて、沖縄の競合分析、観光資源の評価、訪問者の指向と需要の調査等の CRM 開発調査を実施した。	最終予算額 15,000 不用額 5,000
	4,165	5 事務費 ・報酬、職員手当等、旅費	4,329	5 事務費 ・報酬、職員手当等、旅費 ・令和6年度会計年度任用職員の給与改定により、報酬及び職員手当等を事業間流用により増額した。	最終予算額 4,488 不用額 159

3 事業の効果/課題

(1) 国内需要安定化事業

効果： 国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向け、メディアの活用・招聘、航空会社・空港・旅行会社等との連携、県外イベント出展等、多角的かつ戦略的な観光プロモーション活動の実施により、沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進に取り組んだ。令和6年度の国内観光客数は、航空会社による増便・臨時便・季節運航等の実績が好調に推移したことなどから、合計で766万1200人となった。これまでで最多だった令和5年度から39万2100人増となり、過去最多となった。

課題： 沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進のため、海やビーチリゾート等の従来のイメージから脱却し、国内他地域と差別化できる沖縄の独自性や希少性のPRを強化する必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：観光２次交通利用促進事業（継続）

事業期間：令和５年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

繁忙期において、観光客の観光２次交通の利用促進を図るため、市町村や観光事業者等が行う２次交通の確保に要する経費に対し、財政支援を実施する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光2次 交通利用 促進事業	18,105	1 観光2次交通 利用促進事業 ・繁忙期において 市町村、旅行事業 者、交通事業者等 が行う観光2次交 通の確保（観光施 設や観光地域を結 ぶバス等の運行） に対し、財政支援 （補助金）を実施 する。	17,345	1 観光2次交通 利用促進事業 ・繁忙期において 以下のバス運行に 対する財政支援を 実施した。 ①那覇空港（国際 通り経由）～北谷 ゲートウェイ ②北谷ゲートウェ イ～北部リゾート エリア ③県議会前～瀬長 島ウミカジテラス ・首里城・アメリ カンビレッジ）	最終予算額 18,105 執行率 95.8% 不用額 760

3 事業の効果/課題

(1) 観光２次交通利用促進事業

効果： 補助事業を通じて、7,051 人の観光客がバスを使って観光地を訪れることができ、公共交通の利用促進につながった。また、本事業実施により、民間バスの路線化につながった。（那覇空港（国際通り）～北谷ゲートウェイ）

課題： バス路線の定着（認知）には時間を要すること、利用客への旅マエ周知強化、通年を通した利用需要の見極めが必要である。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：戦略的クルーズ観光推進事業（継続）

事 業 期 間：平成 24 年度～令和 13 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

クルーズ船の誘致及び受入体制の強化を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
戦略的クルーズ観光推進事業	50,554	1 戦略的クルーズ観光推進事業 ・展示会への出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、地域の受入体制強化等。	50,214	1 戦略的クルーズ観光推進事業 ・展示会出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、地域の受入体制強化等を通して、付加価値の高いクルーズの寄港促進、小規模離島周遊・発着クルーズの誘致を行った。	☆ 最終予算額 50,554 執行率 99.3% 不用額 340

3 事業の効果/課題

(1) 戦略的クルーズ観光推進事業

効果： 日本における外国籍による国際クルーズ船の受入が本格的に再開されたことを受け、クルーズ船の沖縄寄港は順調に回復していることから、地域経済への波及効果が高まっている。

参考 令和 6 年（暦年）寄港実績 387 回、海路客数 74 万 2,400 人

課題： クルーズ下船時に乗客・乗員のバス、タクシー待ちで行列ができるなど、二次交通が課題となっている。また、クルーズ船の寄港が那覇港に集中し、大型船の同時寄港もあるため、寄港地の分散化が必要である。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：Be. Okinawa 多言語コンタクトセンター運営事業（継続）

事業期間：平成 24 年度～令和 13 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

外国人観光客が安全安心に沖縄旅行ができる環境をサポートするため、観光案内所と連携し、多言語対応による観光情報の提供、通訳サービス及び台風災害時の情報発信等を実施する。（多言語コンタクトセンター運営に係る経費）

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
Be. Okinawa 多言語コンタクトセンター運営事業	45,365	1 Be. Okinawa 多言語コンタクトセンター運営事業 ・チャットボットを活用し、台風や災害時に、来沖中の外国人観光客に向け、注意喚起や避難情報をリアルタイムに発信する機能を運用する。 ・観光案内所の観光情報と観光2次交通情報と連携した観光情報プラットフォームを構築する。	45,365	1 Be. Okinawa 多言語コンタクトセンター運営事業 ・チャットボットを活用し、台風や災害時に、来沖中の外国人観光客に向け、注意喚起や避難情報をリアルタイムに発信する機能を運用して140回発信した。また、沖縄県内の台風や天災、感染症等を想定し、受託事業者が在宅で災害情報を入手できる体制を構築した ・毎月の定例会で情報共有を図り、観光案内所の観光情報と観光2次交通情報と連携した観光情報プラットフォームを構築した。	☆ 最終予算額 45,365 執行率 100%

		・多言語コンタクトセンターの利用促進に向け、広報用のチラシとカードを作成し、観光案内所へ設置するとともに観光業界へ配布する。 ・本事業について、県ホームページやSNS等を通じた周知活動に加えて、観光団体との会議等で紹介を行う。		・多言語コンタクトセンターの利用促進に向け、広報用のチラシとカードを作成し、観光案内所へ設置するとともに観光業界へ配布した。 ・本事業について、県ホームページやSNS等を通じた周知活動に加えて、観光団体との会議等で紹介を行った。	
--	--	--	--	---	--

3 事業の効果/課題

(1) B e . O k i n a w a 多言語コンタクトセンター運営事業

効果： 外国人観光客が安全安心に沖縄旅行ができる環境をサポートするため、観光情報の提供、県内事業者との通訳や台風災害時の情報発信を行い、外国人観光客の満足度向上を図った。センター利用満足度は電話・メールアンケートで 96.0%であり、成果目標 80%以上を達成することができた。

課題： 同センターにおいては、人材確保が課題となっており、チャットボット機能の対話ログを増やすとともに、自動応答機能の精度向上を図り、業務の省人化につなげていく。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：カップルアニバーサリーツーリズム事業（継続）

事業期間：平成28年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

カップルアニバーサリー（プロポーズ、リゾートウェディング、ハネムーン及びバウリニューアル）を沖縄観光ブランドの一つと位置づけ、国内外に向けたプロモーション等を実施し、挙式組数の増加、観光消費額の向上を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
カップル アニバー サリー リズム 事業	33,773	1 カップルアニ バーサリー リズム事業 ・沖縄カップル アニバーサ リーブラ ンディン グイメー ジの発信 ・国内外に 向けた誘 客プロモ ーション の実施 ・受入体 制強化に 向けた取 組の実施	33,647	1 カップルアニ バーサリー リズム事業 ・プロポー ズ、リゾ ートウェ ディン グ、ハネ ムーン及 びバウリ ニューア ルのブラ ンドイメ ージ（静 止画）の 制作及び 発信を行 った。 ・国内2か 所（東京 、大阪） でウェデ ィングフ ェアを開 催した。 ・海外2か 所（台湾 、香港） で同フェ アの開催 及び出展 を実施し た。 ・受入体 制強化及 び商品造 成を促進 するための 連絡会並 びに受入 事業者の スキルア ップを目 的とした 研修等を 本島、宮 古及び八 重山で実 施した。	☆ 最終予算 額 33,773 執行率 99.6% 不用額 126

3 事業の効果/課題

(1) カップルアニバーサリーツーリズム事業

効果： 沖縄でカップルアニバーサリーを実施することを推進し、観光消費額の向上を図るとともに、カップルアニバーサリー前後の観光による滞在日数の延伸を図る取組を行ったが、令和6年（暦年）は新型コロナウイルスからの反動増（コロナ期の待機組による需要）が一服したことや、物価高騰の影響もあり、国内組数の反落がみられた。

課題： 国内市場において、少子化や経済的な理由から挙式や披露宴をしない層、結婚式に意味を見出せない「ナシ婚」層が一定程度いることから、リゾートウエディングだけでなく、カップルアニバーサリーに特化したブランディング強化を実施し、沖縄がカップルで訪れる特別な場所としてのイメージ定着を図るとともに、観光地としての質の向上を図っていく必要がある。また、物価高騰の影響から、国内市場においては、沖縄以外の他県におけるウエディングの需要が高まっている。そのため、円安の影響を受け、来県しやすい海外市場において、観光プロモーションを強化する。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：教育旅行推進強化事業（継続）

事業期間：平成 24 年度～令和 13 年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国内修学旅行市場の変化に対応し、国内修学旅行を安定的に確保するための事業を実施するとともに、海外からの修学旅行誘致を図るための取組を実施する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
教育旅行 推進強化 事業	95,345	1 教育旅行推進 強化事業 (1) 沖縄修学旅行プ ロモーション ・ 沖縄修学旅行の 魅力、学習効果等 の情報発信。 (2) 事前・事後学習 支援 ・ 沖縄への修学旅 行実施校の要望に 応じ、事前・事後 学習支援を実施す る。 (3) 修学旅行模擬体 験提供 ・ 沖縄修学旅行未 実施の学校に対し 沖縄修学旅行の模 擬体験を提供する (4) 沖縄修学旅行商 品造成支援 ・ 商品造成の支援 及びビジネスマッ チングの提供	94,129	1 教育旅行推進 強化事業 (1) 沖縄修学旅行プ ロモーション ・ 修学旅行相談会 等を開催した（東 京、兵庫等で計7 回）。 ・ 修学旅行関係者 向けモニターツア ーを実施した（計 2回）。 (2) 事前・事後学習 支援 ・ 沖縄への修学旅 行を実施する学校 のうち、事前・事 後学習の支援を希 望する学校に対 し、アドバイザー 派遣等を実施した （126件）。 (3) 修学旅行模擬体 験提供 ・ 沖縄修学旅行未 実施校に対しモニ ターツアーを実施 した（8件、参加 人数：21人）。 (4) 沖縄修学旅行商 品造成支援 ・ 県外教育旅行関 係者が求めている SDGs等の探究学習	☆ 最終予算額 95,345 執行率 98.7% 不用額 1,216

		(5) 沖縄修学旅行推進協議会の開催 ・ 沖縄修学旅行の誘致促進に向けた効果的なプロモーションと受入体制の整備に向けて、関係者が課題の共有と解決策を協議する場を提供する。 (6) 海外教育旅行誘致活動 ・ 海外向けプロモーションやセミナー等の開催		プログラムに関する勉強会を開催した。 (5) 沖縄修学旅行推進協議会の開催 ・ 協議会及び5つの分科会（宿泊機能、商品造成 PR、教育旅行民泊、平和学習、輸送機能）において、課題等の共有及び協議を実施した（協議会1回、各分科会2～3回）。 (6) 海外教育旅行誘致活動 ・ 相談会への参加や教育関係機関の訪問を実施した（計2回）。 ・ 台湾教育旅行関係者及び教育関係社向け招へい事業を2件実施した。	
--	--	---	--	---	--

3 事業の効果/課題

(1) 教育旅行推進強化事業

効果： 少子化の進行による児童・生徒数の減少や、新幹線の新規開業による国内他地域との競合、物価高騰等による外部環境が厳しさを増す中、プロモーションや課題解決等に対する取組を継続することが沖縄修学旅行の安定的かつ長期的な需要確保に効果があると思料される。

課題： 沖縄への修学旅行の実施が4月から6月、10月から12月にかけて集中することから、閑散期への誘導を行う必要がある。例年修学旅行を実施していない時期への変更を検討してもらうため、教員向けのモニターツアーの実施や、海外や国内他地域からの方面変更需要に対応し、新規需要の獲得を図る。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：観光２次交通結節点機能強化事業（継続）

事業期間：令和５年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

観光２次交通結節点や主要ホテルやレンタカー事業所を周遊する小型バス等を運行し、レンタカー貸渡場所の分散化を図る取組を実施する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光2次 交通結節 点機能強 化事業	142,719	1 観光2次交通 結節点機能強化 事業 ・観光2次交通結 節点を設置し、交 通広場の設置、運 営を行う。 ・近隣ホテル等を 周遊する小型バス の実証運行	124,420	1 観光2次交通 結節点機能強化 事業 ・北谷町美浜駐車 場の一角に観光2 次交通結節点「北 谷ゲートウェイ」 を設置し、貸切バ ス待機場、バスや タクシーの乗降場 等ターミナルとし て運用した。 ・美浜エリアを周 遊する小型バスの 実証運行を実施し た。	最終予算額 142,719 執行率 87.2% 不用額 18,299

3 事業の効果/課題

(1) 観光２次交通結節点機能強化事業

効果： 実証事業開始に伴い、①那覇空港から北谷ゲートウェイ路線の新設、②レンタカーからバスへの利用転換、③観光客の満足度向上につながった。

課題： 「北谷ゲートウェイ」を基点とした主要観光地との接続や観光客への周知強化、レンタカー営業所等との接続等、結節点のさらなる機能強化に向けた取組を進めていく必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：沖縄観光コンテンツ開発支援事業（継続）

事業期間：平成30年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国内外の観光誘客等の拡大を図るため、沖縄の観光資源を活用した観光商品（高付加価値型観光）の開発への取組を支援する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄観光 コンテンツ開 発支援事業	92,025	1 沖縄観光コン テンツ開発支 援事業 ・沖縄の観光資源 （自然、文化、歴 史等）を活用した 多彩で質の高い観 光コンテンツ開発 に取り組む民間事 業者等に対し、支 援を行う。	83,668	1 沖縄観光コン テンツ開発支 援事業 ・沖縄の観光資源 （自然、文化、歴 史等）を活用した 多彩で質の高い観 光コンテンツ開発 に取り組む民間事 業者等に対し、財 政支援を行った。 （件数：11件）	☆ 最終予算額 91,652 執行率 91.3% 不用額 7,984

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄観光コンテンツ開発支援事業

効果： 沖縄の地域資源を活用した多彩で質の高い観光コンテンツ開発を支援したことにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸に寄与した。

課題： 世界から選ばれる持続可能な観光地形成に向けて、継続して沖縄のソフトパワーを活かしたツーリズムを推進する必要がある。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：沖縄ワーケーション促進事業（継続）

事 業 期 間：令和２年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図るため、県外企業等に対し、沖縄でのワーケーションを促進するプロモーションやモニターツアー等を行い、沖縄でのワーケーションの導入・実施につなげる。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄ワー ケーション 促進事 業	52,418		49,484		☆ 最終予算額 52,418 執行率 94.4% 不用額 2,934
	29,801	1 沖縄ワーケー ション促進事業 ・沖縄ワーケー ションの魅力発信 ・イベント出展に よるプロモーション実施 ・地域交流型モニ ターツアーの開催	29,801	1 沖縄ワーケー ション促進事業 ・観光情報アプリ 等で特集記事を掲 載し、沖縄ワーケー ションの魅力を 発信した。 ・ツーリズムE X P Oジャパン外3 件のイベントに出 展し、プロモーションを実施した。 ・沖縄でワーケー ションを体験して もらうため、関係 者の招へいツアー 及び県外企業等の モニターツアーを 開催した。	最終予算額 29,801 不用額 0

	22,019	2 沖縄県ワーケーション連携促進事業 ・沖縄リゾートワーケーション推進協議会の活動を支援する。	19,489	2 沖縄県ワーケーション連携促進事業 ・沖縄リゾートワーケーション推進協議会の活動を支援した。	最終予算額 22,019 不用額 2,530
	598	3 事務費 ・旅費	194	3 事務費 ・旅費	最終予算額 598 不用額 404

3 事業の効果/課題

(1) 沖縄ワーケーション促進事業

効果： ビジネスリーダー及び「Well-being」に興味がある県外企業に対し、プロモーションを実施することで、沖縄でのワーケーションの認知度向上につながった。

課題： 引き続き、沖縄の特色である世界自然遺産等を活用したワーケーションを発信するなど、沖縄独自の過ごし方をPRする必要がある。

(2) 沖縄ワーケーション連携促進事業

効果： 沖縄におけるワーケーションの情報集約・発信等を一元的に行うため、県内のワーケーションができる宿泊施設やコワーキング施設等の情報を発信するWebサイトを制作し、各施設の特集記事を掲載して周知を行った。

課題： 引き続き、県内におけるワーケーション施設等の情報集約・発信等を行うとともに、現在のワーケーションのニーズを的確に把握する必要がある。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：観光人材育成・確保促進事業（継続）

事 業 期 間：平成 30 年度～令和 13 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国際観光地としての受入体制を強化するため、国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供する人材を育成・確保する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和 6 年 度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光人材 育成・確 保促進事 業	57,597	1 観光人材育成 ・確保促進事業 ・観光関連事業者 が共通に抱える課 題に取り組むため 集合型研修等を開 催する（100 事業 者）。 ・オンラインセミ ナー動画の配信 （20 動画） ・学生と企業のマ ッチングイベント の開催	56,440	1 観光人材育成 ・確保促進事業 ・観光関連事業者 が共通に抱える課 題に取り組むため 集合型研修等を 36 回開催し、145 事 業者が参加した。 ・オンラインセミ ナーの動画を 8 コ ンテンツ配信し た。（14 動画） ・学生と企業のマ ッチングイベント を開催した。（出 展企業 22 社、来 場者 93 名）	☆ 最終予算額 57,597 執行率 98.0% 不用額 1,157

3 事業の効果/課題

(1) 観光人材育成・確保促進事業

効果： 観光関連従事者を対象に 36 回の研修を実施し、目標値を上回った。
また、観光業界の喫緊の課題である人手不足を解消するため、人材確保に資するセミナーやマッチングイベントを開催した。集合型研修は 145 事業者が参加しており、観光客が満足する高いサービスを提供できる人材の確保に寄与している。

課題： 観光業界においては、引き続き人手不足の状況にあることから、人材確保に向けた支援を継続して実施していく必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：持続可能な国際観光景観事業（新規）

事業期間：令和6年度～令和8年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

「～美ら島沖縄～花と樹木の沿道景観計画」で定める重点管理路線（県民や観光客に印象を与える効果が高いルート）において、道路緑化及び官民連携の取組等により、持続可能な国際観光地の形成を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
持続可能な国際観光景観事業	300,000	1 持続可能な国際観光景観事業・重点管理路線の先行区域5か所について、全体計画策定、実施設計、街路樹等の更新、官民連携による維持管理体制の構築などの取組を実施する。	83,271	1 持続可能な国際観光景観事業・重点管理路線の先行区域5か所について、全体計画策定、実施設計、街路樹等の更新、官民連携による維持管理体制の構築等を実施した。	最終予算額 300,000 執行率 27.8% 翌年度繰越額 216,729 不用額 0

3 事業の効果/課題

(1) 持続可能な国際観光景観事業

効果： 沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい良好な沿道景観を形成するとともに、官民連携による維持管理体制の構築により、国際観光地の形成に加え、経済、健康、交流、子ども、環境、景観、交通、雇用及び官民連携によるSDGs（住み続けられるまちづくり）等の施策に寄与する。

課題： 官民連携による持続可能な維持管理体制を構築するにあたり、地域や企業などの関係者等との協議に不測の日数を要していることから、事業推進に向け、適切に進捗管理を行う必要がある。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：沖縄観光人材不足緊急対策事業（新規）

事 業 期 間：令和 6 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

観光人材不足に対応するため、無人化・省人化への取組や、県内外からの観光人材受入推進への支援を実施する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄観光 人材不足 緊急対策 事業	575,000		289,854		最終予算額 333,500 執行率 86.9% 不用額 43,646
	340,599	1 観光事業者収益力向上サポート事業 ・観光事業者の無人化・省人化に資する費用を支援する。	185,371	1 観光事業者収益力向上サポート事業 ・観光事業者の無人化・省人化に資する費用に対して財政支援を行った。 (件数：55件)	最終予算額 195,699 不用額 10,328
	234,401	2 観光人材受入等支援事業 ・県内観光事業者が行う県内外からの観光人材の受入にかかる取組を支援する。	104,483	2 観光人材受入等支援事業 ・県内観光事業者が行う県内外からの観光人材の受入にかかる取組に対して財政支援を行った。 (件数：64件)	最終予算額 137,801 不用額 33,318

3 事業の効果/課題

(1) 観光事業者収益力向上サポート事業

効果： 観光事業者の設備投資への需要を満たし、各事業者の業務の効率化、省人化が図られたものと思料される。

課題： 本事業は、補助対象者を「コロナ禍前の平成 30 年度と比較して従業員数が減少している事業者」としたため、事業者の自助努力によってコロナ禍前と比較して従業員数が増えた事業者が補助対象外となったことから、補助金の申請件数及び申請額が想定よりも下回った。

また、補助上限額が低い中規模・小規模事業者からの申請が多く、1 件当たりの補助金交付決定額が少額となったことから、申請額が想定よりも下回った。

今後は、補助対象を広げ、大規模メニュー等の活用を促す必要がある。

(2) 観光人材受入等支援事業

効果： 補助金の活用により、求人活動が進んだことへの感謝の声が多く、特に有料の求人サイトの活用により、効果的に人材を確保できたという意見が多かった。また、観光業界で働く人材が増えることで、サービスの質の向上につながり、観光客の満足度向上に貢献するとともに、リピーターの増加に寄与したものと思料される。

課題： 本事業は、補助対象者を「コロナ禍前の平成 30 年度と比較して従業員数が減少している事業者」としたため、事業者の自助努力によってコロナ禍前と比較して従業員数が増えた事業者が補助対象外となったことから、補助金の申請件数及び申請額が想定よりも下回った。

今後は、補助対象要件を緩和し、コロナ禍での従業員数の増加を理由に対象外となった事業者も含めることで支援範囲を広げ、より多くの事業者が補助金を利用できるよう対象要件の緩和及び補助対象経費の拡充を検討する必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：高付加価値なインバウンド観光地形成事業（新規）

事業期間：令和6年度～令和9年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

沖縄独自の歴史や文化、地域資源を利活用した観光を推進するとともに、自然環境の保全、地域の文化・生活環境を尊重し、旅行者と地域住民が沖縄観光ブランドの価値を共有する持続可能で質の高い観光に取り組む。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
高付加価値なイン バウンド 観光地形 成事業	180,000		169,592		最終予算額 170,856 執行率 99.3% 不用額 1,264
	42,000	1 マスタープラン追加等調査・体制準備業務 ・高付加価値旅行者層に関する基礎調査 ・マスタープラン実現のための戦略策定 ・戦略実践のための地域協議会の設立検討 ・沖縄・奄美エリアのコアゾーンでの機運醸成支援	42,000	1 マスタープラン追加等調査・体制準備業務 ・高付加価値旅行者層に関する基礎調査を実施した。 ・マスタープラン実現のための戦略を策定した。 ・戦略実践のための地域協議会の設立を検討した。 ・沖縄・奄美エリアのコアゾーンでの機運醸成を支援した。	最終予算額 42,000 不用額 0
	63,480	2 アドベンチャーツーリズム推進事業 ・プロトタイプ商	63,480	2 アドベンチャーツーリズム推進事業 ・プロトタイプ商	最終予算額 63,480 不用額 0

		品造成、FAM・モニターツアー、セミナー実施及び商談会参加		品造成、FAM・モニターツアー、セミナー実施及び商談会に参加した。	
	63,480	3 ガストロノミー推進事業 ・プロトタイプ商品造成、セミナー、モニターツアーの実施	63,480	3 ガストロノミー推進事業 ・プロトタイプ商品造成、セミナー、モニターツアーを実施した。	最終予算額 63,480 不用額 0
	11,040	4 事務費 ・旅費	632	4 事務費 ・旅費	最終予算額 1,896 不用額 1,264

3 事業の効果/課題

(1) マスタープラン追加等調査・体制準備業務

効果： 高付加価値なインバウンドの受入体制整備のため、基礎調査を実施マスタープランの改訂を実施。また、マスタープラン実施のための地域協議会設立について、県内経済界と検討し、地域協議会の体制構築の促進につなげた。

課題： 高付加価値なインバウンド観光地づくりのためにはホスピタリティ人材の不足が課題であるため、宿泊施設のみならず、二次交通も含めたホスピタリティ人材等の育成をしていく必要がある。

(2) アドベンチャーツーリズム推進事業

効果： アドベンチャーツーリズムに取り組む県内事業者へのセミナーや実証ツアーを実施し、優良な事例を創出した。また、国内商談会への参加や県内事業者との意見交換等を通して、アドベンチャーツーリズムの販路を形成する上での課題や必要な対策を検討・共有し、今後の販路体制構築の促進につなげた。

課題： 実証したアドベンチャーツーリズムを今後販売につなげるためには、県内関連事業者と旅行会社・DMCとのネットワーク構築の他、コンテンツやツアーを磨き上げていく必要がある。

(3) ガストロノミー推進事業

効果： ガストロノミーツーリズムに取り組む県内事業者へのセミナーや実証イベントを実施し、優良な事例を創出した。また、県内事業者との意見交換等を通して、ガストロノミーツーリズムを実施する上での課題や必要な対策を検討・共有し、今後の販路体制構築の促進につなげた。

課題： 実証したガストロノミーツーリズムを今後販売につなげるためには、県内関連事業者と旅行会社・DMCとのネットワーク構築の他、コンテンツやツアーを磨き上げていく必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：那覇空港観光２次交通対策事業（新規）

事業期間：令和６年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

那覇空港における観光２次交通の課題に対応するため、繁忙期におけるレンタカーの送迎バス乗り場の確保を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
那覇空港 観光2次 交通対策 事業	2,608	1 那覇空港観光 2次交通対策事業 ・繁忙期にレンタ カー送迎のために 乗降できる臨時の 送迎車両乗り場を 設置し、誘導員等 を配置する。	0	1 那覇空港観光 2次交通対策事業 ・関係機関及び沖 縄県レンタカー協 会と連携し、那覇 空港北側バスプ ールを活用したレン タカー送迎車両の 乗り場の確保を行 った。 ・同協会が独自に 誘導員を配置する 取組を行ったこと から、予算は執行 していない。	最終予算額 2,608 執行率 0.0% 不用額 2,608

3 事業の効果/課題

(1) 那覇空港観光２次交通対策事業

効果： 沖縄レンタカー協会への聴き取り調査によると、那覇空港北側バスプールを活用した事業者は約 50 社であった。繁忙期にレンタカーの乗降及び待機場所として活用できたことにより、レンタカー送迎車両乗り場の渋滞緩和につながった。

課題： 引き続き関係機関と連携し、那覇空港における観光２次交通の課題解決に向けた取組を行う必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：沖縄観光人材不足緊急対策事業（交付金）（新規）

事業期間：令和6年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

観光事業者の行う受入促進に関わる取組を促進することにより、観光業界の持続的発展につながる人材の確保・定着を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄観光 人材不足 緊急対策 事業（交 付金）	140,611		85,699		最終予算額 101,811 執行率 84.2% 不用額 16,112
	49,596	1 観光人材マッチング支援事業 ・海外合同就職説明会の開催、インターンシップ受入促進、職場見学ツアー等を実施する。	49,472	1 観光人材マッチング支援事業 ・海外合同就職説明会の開催、インターンシップ受入促進、職場見学ツアー等を実施した。	最終予算額 49,596 不用額 124
	91,015	2 観光人材受入等支援事業 ・県内観光事業者行う県内外からの観光人材の受入にかかる取組を支援する。	36,227	2 観光人材受入等支援事業 ・県内観光事業者行う県内外からの観光人材の受入にかかる取組に対して財政支援を行った。 (件数：47件)	最終予算額 52,215 不用額 15,988

3 事業の効果/課題

(1) 観光人材マッチング支援事業

効果： 海外合同就職説明会の開催や見学バスツアー、海外からのインターンの参加者アンケート調査を行ったところ、全体の約８割が「観光業への就職意欲が高まった」と回答していることから、観光業界に対する魅力の向上に一定程度寄与したものと考ええる。

課題： 海外合同就職説明会へ参加する事業者は、外国人材の受け入れに積極的であるが、多くの事業者においては、言語やコミュニケーションに関する受入体制の整備が十分に進んでいないため、外国人材を積極的に受け入れる事業者が限定的となっている。

(2) 観光人材受入等支援事業

効果： 補助金の活用により、求人活動が進んだことへの感謝の声が多く、特に有料の求人サイトの活用により、効果的に人材を確保できたという意見が多かった。また、観光業界で働く人材が増えることで、サービスの質が向上するとともに観光客の満足度が向上し、リピーターが増えることに寄与したものと考えられる。

課題： 本事業では、主に、外国人材の確保に向けた海外就職説明会等への出展経費など人材確保に要する経費を支援しているが、補助金の申請件数及び申請額が想定よりも下回った。主な要因として、外国人材を積極的に受け入れる事業者が限定的であること、外国人材の採用にあたって、現地での調整やビザ取得などに時間がかかり、補助対象期間内での実施が間に合わなかったこと、募集期間内での申請が困難であったとの意見が寄せられたことから、事前周知の方法、申請様式等の簡略化等を検討する必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：修学旅行需要分散化促進支援事業（新規）

事業期間：令和6年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

修学旅行において、探究学習 SDG s 学習等を希望する学校に対し、体験プログラムの追加にかかる経費を支援することにより、修学旅行の行程や場所、交通手段、時期変更等を誘導し、沖縄修学旅行における需要の分散化を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
修学旅行 需要分散 化促進支 援事業	120,000	1 修学旅行需要 分散化促進支援事業 ・沖縄を目的地と した修学旅行に対 し、体験学習の追 加経費を支援す る。	55,248	1 修学旅行需要 分散化促進支援事業 ・令和6年10月 1日から令和7年 1月31日の間に 実施される修学旅 行のうち、46校分 （7,918人）に対 して財政支援を実 施した。	最終予算額 120,000 執行率 46.0% 不用額 64,752

3 事業の効果/課題

(1) 修学旅行需要分散化促進支援事業

効果： 本事業の目的は修学旅行繁忙期における需要分散化であり、支援条件の一つとして「行程の変更」を申請者に求め、探究学習等の追加経費を支援するものである。そのため、本事業の実施により、バスの利用台数の縮小や観光施設における混雑の緩和等を図りつつ、県内観光事業者の旅行需要確保につながった。

課題： 修学旅行の行程は1年前にはほぼ固まっており、概ね3か月前には実施校と旅行会社との間で最終確定となることから、令和6年6月に受付開始を行った本事業に係る申請は当初想定を下回り、限定的なものとなったため、事業の周知強化が必要である。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：持続可能な観光地形成に向けた2次交通推進モデル事業（新規）

事業期間：令和6年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

特定の地域や時期における、旅行者の急激な増加に伴う自然環境や住民生活への影響等の観光諸問題を解決するため、観光客の平準化及び分散化を行うとともに、地域の実情に応じた需要の適切な管理を行うため、地域協議会と連携した取組を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
持続可能な観光地 形成に向けた2次 交通推進 モデル事業	120,000		85,241		最終予算額 100,000 執行率 85.2% 不用額 14,759
	50,000	1 那覇空港から 北谷町までの輸 送力強化等事業 ・那覇空港から2 次結節点である北 谷町へ直行バスの 実証運行を行う。	40,000	1 那覇空港から 北谷町までの輸 送力強化等事業 ・那覇空港から2 次結節点である北 谷町へ直行バスの 実証運行を行っ た。	最終予算額 40,000
	10,000	2 手ぶら観光の 推進事業 ・那覇空港から宿 泊施設等へ手荷物 を届けるサービス を行う「手ぶら観 光」について、周 知啓発を行う。	8,000	2 手ぶら観光の 推進事業 ・手ぶら観光につ いて、旅マエプロ モーションの Web 広告や那覇空港内 でのデジタルサイ ネージ表示による 周知啓発を行っ た。	最終予算額 10,000 不用額 2,000

	60,000	3 クルーズ船二次交通機能強化事業 ・クルーズ船寄港時に循環バスの実証運行を行う。	37,241	3 クルーズ船二次交通機能強化事業 ・クルーズ船寄港時に無料循環バスの実証運行を行った。	最終予算額 50,000 不用額 12,759
--	--------	--	--------	---	----------------------------------

3 事業の効果/課題

(1) 那覇空港からの北谷町までの輸送力強化等事業

効果： 実証期間中に計 4,043 人、一日当たり 21.2 人が直行バスに乗車し、公共交通の利用促進に貢献した。

課題： 空港から観光二次交通結節点「北谷ゲートウェイ」への接続強化を図るため、さらなるバスの運行及び周知啓発が必要である。

(2) 手ぶら観光の推進事業

効果： 手ぶら観光のサービスを行う事業者の取組や課題等を把握することで、推進連絡会における検討内容の高度化や今後の取組の方向性に向けた基礎情報が把握できた。

課題： 手ぶら観光を推進するため、旅マエ広報や多言語対応の強化、那覇空港及び物流業者との連携強化が必要である。

(3) クルーズ船二次交通機能強化事業

効果： クルーズ船寄港時に無料循環バスを運行することで、那覇港第2クルーズバースでの滞留が解消された。

課題： より多くの観光客に利用してもらうための広報強化や地域住民の住環境を悪化させないように、観光客へのマナー啓発の取組が必要である。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：マリンタウン大型MICE施設整備・エリア形成事業（継続）

事業期間：令和5年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

大型MICE施設とマリンタウンMICEエリア全体の周辺環境の整備に向けた取組（PFI手法に基づく公募手続・事業者選定及びスマートシティ形成等の調査検討ほか）の推進。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
マリンタウン大型 M I C E 施設整備 ・エリア 形成事業	105,749	1 マリンタウン 大型M I C E施 設整備・エリア 形成事業 ・大型M I C E施 設とマリンタウン M I C Eエリア全 体の周辺環境の整 備に向けた取組 （P F I手法によ る事業の公募・事 業者選定）を推進 する。	80,728	1 マリンタウン 大型M I C E施 設整備・エリア 形成事業 ・大型M I C E施 設とマリンタウン M I C Eエリア全 体の周辺環境の整 備に向け、P F I 事業を実施する民 間事業者の公募を 実施した。その後 不調となったこと から、不調理由の 調査、事業条件の 検証等を行った。	最終予算額 105,749 執行率 76.3% 翌年度繰越額 18,500 不用額 6,521

3 事業の効果/課題

(1) マリンタウン大型MICE施設整備・エリア形成事業

効果： 令和6年6月に沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業の入札公告を実施。同年9月に参加表明書の提出がなく入札不調となったため、事業条件の検証等について整理を行った。

また、上記取組と並行して、マリンタウンMICEエリア形成に向けた調査検討や大型MICEエリア振興に関する協議会及び幹事会の開催を行った。

課題： できる限り早期の入札公告に向けて、事業条件の再整理や基本計画の改定の検討等の取組を進める必要がある。

また、民間事業者とのサウンディング、関係市町村との連携を進めながら、周辺公用地等を活用し、大型MICE施設を核とした賑わいのあるマリンタウンMICEエリアを形成するため、エリアの特性を生かしたまちづくりの方針を検討する必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：戦略的MICE誘致促進事業（継続）

事業期間：平成24年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

回復傾向にある国内外のMICE需要を沖縄へ引き込むための積極的な誘致・プロモーション活動の展開に取り組む。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
戦 略 的 M I C E 誘 致 促 進 事業	191,524	1 戦 略 的 M I C E 誘 致 促 進 事業 ・ 国 内 外 の M I C E 見 本 市 ・ 商 談 会 へ の 参 加 及 び セ ミ ナ ー 開 催 等 を 通 じ て、誘 致 ・ 広 報 事 業 を 実 施 す る。 ・ 沖 縄 県 内 で 開 催 さ れ る 国 際 学 会 等 に 対 し、支 援 を 実 施 す る。 ・ 沖 縄 M I C E 振 興 戦 略 に 基 づ き、産 学 官 の 連 携 体 制 を 強 化 ・ 拡 充 し、地 域 に お け る M I C E 受 入 体 制 の 充 実 を 図 る。	179,693	1 戦 略 的 M I C E 誘 致 促 進 事業 ・ 国 内 外 の M I C E バ イ ヤ ー 向 け 商 談 会 に 参 加 し（7 回）、136 件 の 商 談 を 行 っ た。 ・ 支 援 実 績 は 41 件 で あ っ た。 ・ 沖 縄 M I C E ネ ッ ト ワ ー ク（会 員 数 198 団 体）を 運 営 し、勉 強 会 （ 2 回）、部 会 （ 5 回）を 開 催 し た。	☆ 最 終 予 算 額 191,524 執 行 率 93.8% 不 用 額 11,831

3 事業の効果/課題

(1) 戦略的MICE誘致促進事業

効果：国内外の商談会参加により、MICE開催地としての沖縄の認知度向上を図ったほか、県独自の商談会を開催し、県内事業者と県外旅行者等とのビジネス機会を創出した。

貸切バス等運行支援やコンベンション開催支援により、沖縄でのM I C E開催に繋げることができた。

沖縄M I C Eネットワークの運営を通じた産学官の連携強化により、受入体制の充実が図られた。

課題： 沖縄でのM I C E開催の誘致、主催者・参加者の満足度向上による定着化に繋げるため、継続的に関連事業者の連携強化を図るほか、ビジネス機会の創出等に取り組む必要がある。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：M I C E 受入体制強化等事業（継続）

事 業 期 間：令和 5 年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 M I C E 推進課

1 事業の目的・内容

全県的なM I C E 受入体制の強化（M I C E 専門人材の育成、アドバイザー派遣）、沖縄らしさを活用してM I C E 参加者の満足度を向上させる開催歓迎支援の充実を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
M I C E 受入体制 強化等事業	70,252	1 M I C E受入 体制強化等事業 ・ M I C E 案件 の獲得からオペ レーション業務に至 るまでのノウハウ 及びM I C E に関 する幅広い見識習 得のための講座、 セミナーを開催す る。 ・ 多様化する主催 者ニーズについて 課題を抱えるM I C E 関連事業者に対 し、専門アドバイザー を派遣し、指導、助 言を行う。 ・ 沖縄でのM I C E 開催に対する歓迎 支援として、空港歓 迎式や芸能アトラク ション等の派遣等 を行う。	68,865	1 M I C E受入 体制強化等事業 ・ 全8回（オンラ イン6回、集合型 2回）の講座を開 催し、参加者は延 べ243名であつた。 ・ 5事業者に派遣 を行い、派遣回数 は9回であった。 ・ 支援メニューの 提供実績は179件 であった。	最終予算額 70,252 執行率 98.0% 不用額 1,387

3 事業の効果/課題

(1) M I C E 受入体制強化等事業

効果： セミナー受講後のアンケート結果では参加者の 98%がスキルアップ・能力向上の実感を持ったとの回答を得た。

専門アドバイザー派遣事業については、課題解決に向けた取組の指導により、活用した全 5 事業者から「非常に役立った」、「役立った」との回答を得ることができた。

開催歓迎支援のアンケートでは「大変満足・おおむね満足」という回答が約 9 割に上り、主催・参加者の満足度向上に貢献した。

課題： コロナ禍後の M I C E 実績の増加により人手不足が顕著となり、セミナーやアドバイザー派遣の対応が困難な事業者が多いため、事業者が活用しやすい工夫が求められる。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：サッカースタジアム整備等推進事業（継続）

事業期間：令和5年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

Jリーグ規格スタジアムの整備に向け、施設計画、整備財源や整備手法等について検討を進める。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
サッカースタジアム整備等 推進事業	27,730	1 サッカースタ ジアム整備等推 進事業 ・国内外からのス ポーツコンベンシ ョンの誘致を図る ため、サッカース タジアムを整備す るにあたり、法手 続きの対応に必要 な資料を作成する とともに、運営収 支の精緻化を行 う。	1,300	1 サッカースタ ジアム整備等推 進事業 ・法手続きの対応 に必要な資料の作 成や概略設計を進 めるとともに、有 識者委員会への意 見聴取を踏まえた 「Jリーグ規格ス タジアム整備計 画」の策定を進め た。	最終予算額 47,440 執行率 2.7% 翌年度繰越額 45,688 不用額 452

3 事業の効果/課題

(1) サッカースタジアム整備等推進事業

効果： 法手続きに必要な資料の作成及び関係機関との調整、概略設計、有識者委員会への意見聴取を踏まえた「Jリーグ規格スタジアム整備計画」の策定とともに、整備条件に関する事業者サウンディング調査等を進めた。

課題： スタジアム整備の入札公告に向けた実施方針、要求水準書（案）及び事業契約書（案）等の作成とともに、法手続きのための調査及び関係機関調整を進める必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業（継続）

事業期間：平成 24 年度～令和 8 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立させるため、文化コンテンツを含む旅行商品造成プログラムモデルを構築するとともに、観光客の沖縄の芸能に対する認知度や理解度を高めるための文化体験等の取組を行い、沖縄観光の誘客を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	17,160	1 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業 ・旅行商品造成プログラムモデルの構築を行う。 ・文化体験プログラムモデルの構築と、公演の広報活動などを行う。	17,101	1 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業 ・旅行商品造成プログラムモデルの構築を行った。 ・文化体験プログラムモデルの構築と、公演の広報活動などを行った。	☆ 最終予算額 17,160 執行率 99.7% 不用額 59

3 事業の効果/課題

(1) 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

効果： 沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューの確立させるため、商品造成プログラム 2 件を構築。観光客の沖縄の芸能に対する認知度や理解度を高めるための文化体験プログラムモデルに 7 団体を登録し、観光施設等への派遣を 11 回実施。

課題： 文化資源を活用した観光メニューを確立させるには、長期の取組が必要である。観光客の沖縄の文化資源に対する認知度や理解度を高めるため、引き続き、支援を行う必要がある。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業

事 業 期 間：令和 5 年度～令和 7 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 文化振興課

1 事業の目的・内容

文化資源を活用した観光コンテンツ創出や文化観光の推進に向けた取組を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和 6 年 度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
しまじま の芸能を 活用した 文化観光 コンテン ツ創出事 業	43,697	1 しまじまの芸 能を活用した文 化観光コンテン ツ創出事業 ・ 県内各地域の伝 統芸能等の実態調 査及び課題解決に むけた支援をす る。 ・ 沖縄県伝統芸能 祭の実施。	42,068	1 しまじまの芸 能を活用した文 化観光コンテン ツ創出事業 ・ 地域の芸能団他 （296 団体）にア ンケート調査を実 施し、ハンズオン 支援希望団体（57 団体）のカルテを 作成し、文化資源 の掘り起こしと活 動実態及び課題を 把握した。 ・ 「沖縄県伝統芸 能祭」を開催し、 14 の芸能団体に、 に出演してもら い、合計 565 人の 観客に地域の伝統 文化を披露するこ とができた。（本 島 2 回、離島 1 回 開催）	最終予算額 43,697 執行率 96.3% 不用額 1,629

3 事業の効果/課題

(1) しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業

効果： 令和6年度は、芸能祭を3公演開催し、観客総数901人に14の地域の伝統文化を披露した。（本島2回、離島1回開催）。また、文化資源の掘り起こしと活動実態及び課題を把握のため、昨年度の296団体から22団体増加し318団体のリストを作成した。さらに、北部・中部・南部圏域において、課題解決（継承・資金造成・情報発信）についてのセミナーを開催。また団体間の情報交換の場として、座談会を開催した。引き続き、令和6年度以降の各団体の支援につなげる。

課題： 「沖縄県伝統芸能祭」3公演の芸能祭への事前予約は順調であるが、実際の来場者は50%程度となり、歩留まりの改善が課題となった。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：スポーツツーリズム戦略推進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

沖縄の温暖な気候とスポーツ資源を活用した新たな観光メニューであるスポーツツーリズムの普及・定着を図り、スポーツを通じた観光誘客を促進する各取組を実施する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
スポーツ ツーリズム 戦略推 進事業	247,349	1 スポーツツー リズム戦略推進 事業	246,222	1 スポーツツー リズム戦略推進 事業	☆ 最終予算額 247,349 執行率 99.5% 不用額 1,127
	21,714	(1)スポーツイベ ント支援事業 ・県内で開催する スポーツイベント に対する補助	21,206	(1)スポーツイベ ント支援事業 ・県内で開催する スポーツイベント に対する補助4件	最終予算額 21,714 不用額 508
	50,358	(2)スポーツ観光戦 略的誘客促進事業 ・沖縄県へのスポ ーツ旅行に係るプ ロモーション。	50,283	(2)スポーツ観光戦 略的誘客促進事業 ・メディアの活 用、スポーツイベ ントへの出展等 によるプロモーション 実施件数36件	最終予算額 50,358 不用額 75
	28,744	(3)プロ野球キャン プ等訪問観光促進 事業 ・SNS活用プロ モーション、空港 への歓迎バナー掲	28,744	(3)プロ野球キャン プ等訪問観光促進 事業 ・SNS活用プロ モーション空港へ の歓迎バナー掲	最終予算額 28,744

		出、国際通りへのデジタルサイネージ掲出、ガイドブック作成		出、国際通りへのデジタルサイネージ掲出、ガイドブック作成を実施	
	27,000	(4) スポーツコミッション沖縄体制整備事業 ・スポーツコンベンションの受入に係るワンストップ窓口設置。	27,000	(4) スポーツコミッション沖縄体制整備事業 ・スポーツコミッション相談件数 241 件	最終予算額 27,000
	60,152	(5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業 ・スポーツコンベンションの拡大発展を図るためキーパーソン招へい及び団体合宿実証の実施。	60,014	(5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業 ・キーパーソン招へい 13 件、団体合宿実証 12 件実施。	最終予算額 60,152 不用額 138
	44,772	(6) サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 ・サッカーキャンプ誘致、芝生環境の向上による受入体制の強化等。	44,685	(6) サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 ・25 クラブチーム（うちＪリーグ 18 クラブ）誘致。 ・グラウンドの巡回支援22施設実施。	最終予算額 44,772 不用額 87
	14,609	(7) サイクルツーリズム推進事業 ・県内サイクリングの受入環境の整備。 ・県内ナショナルサイクルルートの指定に向けた取組の推進。	14,290	(7) サイクルツーリズム推進事業 ・沖縄サイクルツーリズム推進協議会の開催。 ・「おきなわサイクルツーリズムアクションプラン」及び「おきなわサイクルツーリズム推進基本構想」の	最終予算額 14,609 不用額 319

				策定。	
--	--	--	--	-----	--

3 事業の効果/課題

(1) スポーツイベント支援事業

効果： スポーツイベントモデル事業への支援を行い、新たなスポーツイベントの創出や定着化を図った。

課題： 創出したイベントの自走化には、資金調達力や運営力を向上させる必要がある。また、イベントの集客力も併せて向上させる必要がある。そのためアドバイザーによるイベント収益面などのノウハウの支援を継続的に行い、周知広報についてもアドバイザーの活用を検討する必要がある。

(2) スポーツ観光戦略的誘客促進事業

効果： 沖縄の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及・定着を図るため、テレビ、専門誌、イベント、交通機関サイネージ、ウェブ等を活用した多角的なプロモーション等を実施した。

課題： 沖縄へのスポーツを目的とした観光誘客を増加・定着させるためには、沖縄の優位性・独自性を生かしたPRだけではなく、新たな付加価値構築が必要となってくる。今後はスポーツに係る観光誘客を更に消費単価の拡大につなげる取組を検討する必要がある。

(3) プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業

効果： キャンプ来訪へのPR活動、プロ野球キャンプ情報WEBサイトの構築、キャンプガイドブックの配布を行い、キャンプ来訪者の利便性の向上を図るとともに、新規誘客に向けた広報・宣伝を行った。

受入市町村、球団等関係機関との連携・協力を強化し、キャンプ期間中の魅力的なコンテンツ開発（デジタルスタンプラリー）等の取組を行うことで、プロ野球キャンプを目的とした本県への観光誘客を促進した。

課題： 来訪者のキャンプ地における消費額増加に繋げるため、来訪者の満足度向上と消費額拡大を図る取組が必要である。

(4) スポーツコミッション沖縄体制整備事業

効果： 公共スポーツ施設設備改善アドバイザーの派遣や、スポーツ施設情報調査の実施、WEB発信や国内外のイベントに出展によるプロモーションを実施した。

課題： コロナ後の合宿需要が増加しており、受入可能施設の整備や、受入市町村並びに宿泊施設等の関係機関との連携を強化する必要がある。

(5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業

効果： スポーツコンベンションの拡大発展に向け、受入希望市町村と連携し、海外誘致活動及びスポーツキーパーソン招へい等に取り組んだ。令和6年度は、13件のスポーツキーパーソンの招へい及び12件の団体合宿実証を実施し、これまでに合宿実績のない新たな競技（日本パラフェンシング等）の合宿誘致に繋がった。

課題： 県内施設や受入体制で抽出された設備劣化等の課題を検証し、継続的な合宿実施に繋げる体制を構築する必要がある。

(6) サッカーキャンプ誘致戦略推進事業

効果： サッカーキャンプ受入市町村及びキャンプ実施クラブ等との連携を強化し、「スポーツアイランド沖縄」の認知向上及びキャンプ地としての魅力を発信した。また、県内全域のグラウンド芝環境の向上のため、各地のグラウンドを巡回し、土壌調査や県内外のグラウンドのクオリティを比較し、芝管理手法の情報共有等を通して、芝管理技術の底上げができた。

課題： サッカーキャンプを目的とした県外観光客数の増加を図るため、県外向けプロモーションやトレーニング及びトレーニングマッチの公開の促進、観戦環境の改善に向けた調整・検討を行う必要がある。

(7) サイクルツーリズム推進事業

効果： 沖縄サイクルツーリズム推進協議会を設置し、「おきなわサイクルツーリズム推進基本構想」及び「おきなわサイクルツーリズムアクションプラン」を策定した。また、沖縄本島1周ルートの実走行調査を行っ

た。
課題： アクションプランにおいては、プランの優先順位の決定に至らなかったため、ロードマップの策定などを行い、優先順位を明らかにする必要がある。また、実走行調査において判明した走行環境の整備については、土木建築部における整備が必要となるため、連携した取組が必要となる。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：FBWC2023のレガシーを活用したスポーツ交流推進事業
(新規)

事業期間：令和6年度～

部署等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

沖縄でキャンプを実施するプロチーム所属のトップアスリート等と沖縄県の子ども達との交流機会を創出する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
FBWC 2023 のレガシ ーを活用 したスポ ーツ交流 推進事業	6,000	1 FBWC20 23のレガシ ーを活用したスポ ーツ交流推進事 業 ・沖縄でキャンプ を実施するプロチ ーム所属のトップ アスリート等と沖 縄県の子ども達と の交流機会を創出 する。	5,983	1 FBWC20 23のレガシ ーを活用したスポ ーツ交流推進事 業 ・琉球コラソンと のハンドボールク リニック 中学生 47名参加 ・バスケットボー ル男子カーボベル デ代表とのオンラ イン交流会 高校 生35名参加 ・学校給食を活用 した交流 県内調 理場 82か所 ・デフバレーボー ル世界選手権 2024 で来沖したチーム との交流 小中学 生609名	最終予算額 6,000 執行率 99.7% 不用額 17

3 事業の効果/課題

(1) FBWC2023のレガシーを活用したスポーツ交流推進事業

効果：デフバレーボール世界選手権を通じた各国選手と子ども達との交流等を実施したほか、ハンドボールクリニックや、学校給食を活用した琉球ゴールデンキングスとの交流、海外トップアスリートの講話を行った。

課題：より多くの子ども達に交流の機会を創出できるよう、関係機関と連

携を強化する必要がある。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：デフバレー世界選手権開催支援事業（新規）

事 業 期 間：令和 6 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

デフバレーボール世界選手権 2024 沖縄豊見城大会開催に係る大会実行委員会に対して支援を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
デフバレー世界選手権開催支援事業	10,000	1 デフバレー世界選手権開催支援事業 ・大会実行委員会への参画と、FBWC2023開催ノウハウを踏まえた助言等を行う。	9,985	1 デフバレー世界選手権開催支援事業 ・大会実行委員会へ参画とFBWC2023開催ノウハウを踏まえた助言等を行うとともに、大会期間中も開催市及び地元競技団体と連携し、マスコミや来賓対応等を行った。	最終予算額 10,000 執行率 99.9% 不用額 15

3 事業の効果/課題

(1) デフバレー世界選手権開催支援事業

効果： デフバレーボール世界選手権 2024 沖縄豊見城大会では、実行委員会への参画と FBWC2023 開催ノウハウを踏まえた助言等を行うとともに、大会期間中の開催市及び地元競技団体との連携によるマスコミ対応や来賓対応などを実施することで、延べ 6,200 人以上の観客を動員し、大会の成功に寄与することが出来た。

課題： デフバレーボール競技団体との連絡調整には想定より時間を要し、デフバレー競技ならではの魅力発信が十分出来なかった。今回の経験を今後活かしていきたい。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：観光危機管理体制構築支援事業（継続）

事 業 期 間：平成 24 年度～令和 13 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

観光地としての安心安全を確保するため関係機関と連携して観光危機管理に関する先導的な取組を実施し、県内各地に波及、拡大を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光危機 管理体制 構築支援 事業	28,445	1 観光危機管理 体制構築支援事 業 ・観光危機管理計 画の周知 ・市町村等の観光 危機管理計画策定 支援	27,682	1 観光危機管理 体制構築支援事 業 ・観光危機の減災 対策、観光客への 情報発信・避難誘 導・安全確保、帰 宅困難者対策に関 する勉強会を開催 した。 沖縄本島全域（北 部・中部・南部 5月）、宮古・八 重山圏域（7 月）、久米島（10 月）。 ・市町村観光危機 管理計画の策定及 び見直し、観光関 連団体に対する事 業継続計画（BC P）等の策定及び 見直しに関するワ ークショップ型勉 強会を開催した。 （令和7年1月21 日～24日の4日 間）	☆ 最終予算額 28,445 執行率 97.3% 不用額 763

		・災害等危機時における、計画の検証、関係機関相互の連携強化等を図ることを目的に、観光危機管理の図上訓練を実施する。 ・海外向けの情報発信文等の翻訳及び情報発信		・関係機関相互の連携強化等を図ることを目的に、観光危機管理図上訓練について、帰宅支援対策を実施し、73 団体 158 名が参加した。 ・災害時に外国語で表記すると想定されるフレーズを4言語（英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語）へ翻訳して、周知を行った。	
--	--	--	--	---	--

3 事業の効果/課題

(1) 観光危機管理体制構築支援事業

効果： 観光危機管理計画に関する勉強会や市町村向けの策定支援等により、令和6年度末計画策定市町村数は20市町村となっていることから、着実に増加している状況である。

課題： 観光危機管理計画を策定している市町村が20市町村と、半分以下となっていることから、引き続き、策定に向けた支援を行うとともに、セミナーや図上訓練を実施することで、県全体の観光危機に対する意識啓発に努める必要がある。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業
(継続)

事 業 期 間：令和 4 年度～令和13年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

スポーツ関連産業の振興を図るため、スポーツと各種産業の連携による事業に対して、補助金を交付し、新たなビジネスモデルの創出や付加価値の向上を促す。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
スポーツ アイラン ド沖縄形 成に向け た付加価 値構築支 援事業	66,000	1 スポーツアイ ランド沖縄形成 に向けた付加価 値構築支援事業 ・スポーツ関連産 業における新たな ビジネスモデルへ の補助	56,245	1 スポーツアイ ランド沖縄形成 に向けた付加価 値構築支援事業 ・スポーツ関連産 業における新たな ビジネスモデルへ の補助 7 件	☆ 最終予算額 63,428 執行率 88.7% 不用額 7,183

3 事業の効果/課題

(1) スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業

効果： 県内のスポーツ関連事業等における付加価値の向上を図るビジネスモデル等に対して支援し、新たな商品やサービスを創出した。

課題： ものづくり、ICTや医・科学分野など、スポーツ以外の他の産業やサービスとスポーツ事業者との連携を深めた提案の増加を促進する。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：令和16年（2034年）第88回国民スポーツ大会開催準備事業（新規）

事業期間：令和6年度～令和16年度

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

令和16年第88回国民スポーツ大会の沖縄県開催に向けて、準備委員会設立、競技施設基礎調査等を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
令和16年（2034年） 第88回国民スポーツ大会 開催準備事業	19,243	1 令和16年（2034年） 第88回国民スポーツ大会開催 準備事業	17,784	1 令和16年（2034年） 第88回国民スポーツ大会開催 準備事業	最終予算額 19,243 執行率 92.4% 不用額 1,459
	12,830	(1)準備委員会設立 等関連事業 ・令和16年の沖縄県開催に向けて、 準備委員会設立及び競技施設の 基礎調査を行う。	12,734	(1)準備委員会設立 等関連事業 ・沖縄県準備委員会を設立し、 総会、常任委員会、総務企画 委員会、競技運営委員会を各 1回開催した。 ・県内競技施設について、 国民スポーツ大会施設基準 との適合等の基礎調査を 実施した。	最終予算額 12,830 不用額 96
	6,413	(2)沖縄県ハイパフォーマンス ジュニア発掘育成事業 ・令和16年の沖縄県開催 に向けて、小学生時期の	5,050	(2)沖縄県ハイパフォーマンス ジュニア発掘育成事業 ・測定会及び競技体験会 を実施し、身体能力に基 づく	最終予算額 6,413 不用額 1,363

		出場対象者に焦点を当てたジュニアアスリートの発掘、育成を行う。		ジュニアアスリートの発掘を行った。	
--	--	---------------------------------	--	-------------------	--

3 事業の効果/課題

(1) 準備委員会設立等関連事業

効果： 沖縄県準備委員会を設置し、開催基本方針など大会開催に係る各種方針や基準等を策定した。また、競技会場となり得る県内施設が施設基準を満たしているか調査を行い、今後の会場地選定に向けた基礎資料とした。

課題： 競技会場地の選定や開催に必要な施設の改修等を着実に進めていく必要がある。

(2) 沖縄県ハイパフォーマンスジュニア発掘育成事業

効果： ジュニアアスリート発掘のための基礎データを得ることができた。

課題： 今後は発掘したアスリートの育成及び競技団体との連携に向けた仕組みづくりを行っていく必要がある。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：災害時等観光客避難支援事業（新規）

事 業 期 間：令和 6 年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

県有施設における一時待機所設置訓練や、台風災害時に帰宅困難となった観光客の滞在先（ホテル・県有施設等）確保及び備蓄に係る経費を負担する市町村等に対して財政支援を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
災害時等 観光客避難支援事業	31,086	1 災害時等観光客避難支援事業 ・ 県有施設（県立武道館、沖縄空手会館）の現地調査、沖縄空手会館における一時待機所設置訓練。 ・ 帰宅困難となった観光客の滞在先の確保及び食料等の備蓄に係る経費を負担する市町村及びホテル等に対する財政支援	990	1 災害時等観光客避難支援事業 ・ 一時待機所の設置を想定し、県立武道館及び沖縄空手会館の現場視察を行い、施設状況を確認した。 ・ 沖縄空手会館で県有施設一時待機所設置訓練を実施し、要員招集、待機場所設置及び所在自治体との連携等を確認した。 ・ 市町村へ補助事業説明会を実施し、主要な市町村と協議を行ったものの、補助要件とする市町村とホテル等の協定締結には至らなかったため、不用額が生じた。	最終予算額 31,086 執行率 3.2% 不用額 30,096

3 事業の効果/課題

(1) 災害時等観光客避難支援事業

効果： 訓練を通じて、一時待機所設置に係る課題を抽出し、市町村の連携を強化することができた。また、市町村との協議を進める中で、宿泊確保や備蓄支援の必要性を確認することができ、より効果的な支援のあり方を検討することができた。

課題： 自治体との連絡網の体制構築、備蓄品・衛星通信の確保手配、帰宅困難となった観光客が求める情報提供や外国人観光客への多言語伝達を構築する必要がある。

基本項目：新時代沖縄の到来

実施項目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：競技力維持・向上対策事業（継続）

事業期間：平成 23 年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

競技力を向上させるための事業等への支援や国民スポーツ大会及び九州ブロック大会への選手派遣等を行い、全国及び国際的に活躍できるトップアスリートを組織的・計画的に育成する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
競技力維持・向上 対策事業	238,675	1 競技力維持・ 向上対策事業 ・（公財）沖縄県ス ポーツ協会に対 し、以下の取組に ついて委託及び補 助を行う。	235,345	1 競技力維持・ 向上対策事業 ・（公財）沖縄県 スポーツ協会へ委 託託及び補助を行 い、以下の実績に つながった。	最終予算額 235,345 執行率 100.0%
	137,081	(1) 国民スポーツ 大会等派遣事業 ・国民スポーツ大 会及び九州ブロッ ク大会への選手団 の派遣を行う。	137,081	(1) 国民スポーツ 大会等派遣事業 ・国民スポーツ大 会及び九州ブロッ ク大会への選手団 の派遣を行った。 （派遣：361 名冬季 含む。） 第 44 回九州ブロッ ク大会（派遣： 711 名）	最終予算額 137,081
	14,035	(2) 沖縄県民体育 大会事業 ・沖縄県民体育大 会を開催する。	13,853	(2) 沖縄県民体育 大会事業 ・43 競技 9,279 名 参加	最終予算額 13,853
	71,211	(3) 競技力向上対 策事業 ・県内競技団体に	70,967	(3) 競技力向上対 策事業 ・県内競技団体に	最終予算額 70,967

		対し強化支援を行う。		対し強化支援を行った。（支援団体：40 団体）	
	6,355	(4) スポーツ少年団育成事業 ・研修会や交流大会、養成講習会を開催する。	7,165	(4) スポーツ少年団育成事業 ・研修会や交流大会、養成講習会を開催した。	最終予算額 7,165
	4,871	(5) スポーツ医・科学研究事業 ・サポートプログラムに基づく支援等を行う。	4,527	(5) スポーツ医・科学研究事業 ・サポートプログラムに基づく支援等を行った。（サポートプログラム 3 団体）	最終予算額 4,527
	1,792	(6) 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度事業 ・クラブ訪問等によりクラブ運営に関する助言・指導を実施する。 ・総合型地域スポーツクラブ交流会を開催する。	1,752	(6) 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度事業 ・クラブ訪問等によりクラブ運営に関する助言・指導を実施(30 件)。 ・総合型地域スポーツクラブ交流会の開催(参加者 12 名)。	最終予算額 1,752
	3,330	(7) スポーツ推進委員協議会運営事業 ・スポーツ推進委員協議会事務局に関する業務を遂行するため非常勤職員を 1 名配置する。	0	(7) スポーツ推進委員協議会運営事業 ・より優先度の高い事業に予算を流用し、本事業は課の職員において対応した。	最終予算額 0

3 事業の効果/課題

(1) 競技力維持・向上対策事業費

効果： 沖縄県スポーツ協会等と連携した県民体育大会の開催や競技力向上等の取組により、本県のスポーツ振興、青少年の健全育成等に貢献した。

課題： 本県の競技力向上などスポーツの振興をより効果的に推進するため、
沖縄県スポーツ協会や県内競技団体等との連携の強化が必要である。

基 本 項 目：新時代沖縄の到来

実 施 項 目：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成

重点施策事業名：社会体育活動の推進（継続）

事 業 期 間：平成 10 年度～

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

総合型地域スポーツクラブや各スポーツ関係機関と連携し、県民がスポーツで
きる機会の拡大とスポーツへの関心と意欲を高め、社会体育活動の推進を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和6年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
社会体育 活動の推 進	9,561	1 社会体育活動 の推進	7,932	1 社会体育活動 の推進	最終予算額 9,303 執行率 85.3% 不用額 1,371
	2,217	(1)生涯スポーツ振 興事業費 ・ スポーツ推進審 議会の運営。 ・ 生涯スポーツ関 係表彰（文部科学 省生涯スポーツ功 労者及び優良団 体、スポーツ推進 委員功労者表彰、 県生涯スポーツ功 労者及び優良団 体表彰、叙勲・褒 章、県スポーツ栄 誉賞、県功労者表 彰など）の実施。	1,089	(1)生涯スポーツ振 興事業費 ・ スポーツ推進審 議会の開催（1 回）。 ・ 文部科学省生涯 スポーツ功労者表 彰、スポーツ推進 委員功労者表彰 （1名）。 ・ 沖縄県生涯スポ ーツ功労者表彰 （1団体）。 ・ 沖縄県スポーツ 栄誉賞（5名）。	最終予算額 1,959 不用額 870
	5,027	(2)社会体育活動支 援事業費 ・ 沖縄県スポーツ ・ レクリエーショ	4,695	(2)社会体育活動支 援事業費 ・ 沖縄県スポーツ ・ レクリエーショ	最終予算額 5,027 不用額 332

		ン祭の開催。 ・県立学校体育施設開放事業の実施。		ン祭の開催（種目 31 種目、参加者数 5,556 人）。 ・県立学校体育施設開放事業の実施（開放校 9 校、利用団体 11 団体・7 種目）。	
	2,317	(3)広域スポーツセンター事業費 ・地域住民が身近な地域でスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブの創設、育成及び支援を行い、総合型地域スポーツクラブに対する助言・指導を行う。 ・総合型地域スポーツクラブ担当者会議及び研修会の実施。 ・総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度を各クラブや市町村に対して周知活動を行う。	2,148	(3)広域スポーツセンター事業費 ・クラブ訪問等によりクラブ運営に関する助言・指導を実施（30 件）。 ・総合型地域スポーツクラブ交流会（参加者 9 名）。 ・総合型地域スポーツクラブの職員向けにアシスタントマネージャー養成講習会を実施（受講者 5 名）。	最終予算額 2,317 不用額 169

3 事業の効果/課題

(1) 生涯スポーツ振興事業費

効果： スポーツ推進審議会を開催し本県におけるスポーツ振興施策に反映させるとともに、生涯スポーツ功労者表彰の実施等を通じ本県の生涯スポーツの促進を図った。

課題： 生涯スポーツの更なる推進を図るためには、他県の優良事例等の情報を収集し、取組の参考としていくことが必要である。

(2) 社会体育活動支援事業費

効果： 沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を開催し、誰でも気軽にスポーツに親しむ機会を県民に提供することや、県民にとって身近なスポーツ施設である学校体育施設を有効活用することを通じ生涯スポーツを推進した。

課題： 沖縄県スポーツ・レクリエーション祭については、より多くの県民の参加に繋がる方法を検討すること、学校体育施設開放事業については、開放校及び利用団体数を拡充できるよう、学校及び活動団体の加盟協会等との連携の強化が必要である。

(3) 広域スポーツセンター事業費

効果： 地域住民が、身近な地域でスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブの創設、育成及び支援を行うことを通じ生涯スポーツの推進が図られた。

課題： 総合型地域スポーツクラブの運営については、人材の確保や財政面において課題を抱えているクラブがあるため、引き続きクラブ訪問等を行い助言・指導を推進する。